

知床博物館講演会

「アムール川が育む豊かな海・オホーツク」

講師 中塚武さん（北海道大学低温科学研究所助教授）

中塚先生は日露中が共同で取り組むアムール・オホーツクプロジェクトの中心メンバーの一人で、オホーツク海の生物生産とアムール川からの物質供給との関連を研究されています。知床を囲むオホーツク海の豊かさはどのようなメカニズムによるのか？シベリア・オホーツク海そして北太平洋とのつながりは？最新の研究をもとにオホーツク海の不思議にせまります。

日 時：3月19日（日）午後2時～3時半まで
場 所：知床博物館 映像展示室
定 員：70 名
入 場：無 料
申込み：博物館まで



斜里高校「知床自然概論」学習成果発表会

2月15日、斜里高校生徒による「知床自然概論」学習成果発表会がありました。この1年、講義や観察で学んだことや、自分たちで調べたことの発表会です。5人のまとめ方もわかりやすく、また聞きにいられた皆さんとの質疑応答もあって、楽しい発表会になりました。



ロビー展 後藤昌美写真展「イウォル 知床・生命の聖域」 3月17日（金曜日）までです。

トピックス●1/12 知床森林センターとの共催「冬の森の生き物観察会」が実施されました●快晴のなか、大栄の海岸林を歩くスキーで移動しながらチョウの卵や冬芽・雪の上の動物の足跡などを観察しました●1月に赤々と実をつけていたナナカマドが、2月になって実を落とし雪の下で春を待っている…と、思っていた友人がいました●じつは1月にはまだ来ていなかったツグミやキレンジャクの群れが2月に渡って来て食べ尽くしてしまいました●他の樹木よりも遅くまで実を付けて、冬鳥に種を運んでもらう作戦でしょうか…●まだ2月だというのに、急に暖かくなって雪解けが進んでいます●雪の下ではフクジュソウやフキノトウが顔を出す準備中でしょうか●雪とナナカマドの実の白と赤のコントラストもきれいですが、緑の季節のエゾニワトコの赤い実も美しい…そろそろ春が恋しくなりました。（ひら）